

推薦 岩松 暉 鹿児島大学名誉教授 静岡大学客員教授
推薦 日置光久 東京大学特任教授

大噴火に備えよ！

—桜島に近い現代都市の危機—

三田和朗 著

【目次】

- 1、大正噴火の概要
- 2、噴火予知
- 3、災害予測の盲点
- 4、大噴火時に予測される被害
- 5、中期的な被害
- 6、復旧の盲点
- 7、各家庭での準備
- 8、降灰除去
- 9、社会基盤

2015年12月発刊

定価 1500円+消費税

高城書房 TEL 099-260-0554

〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町32-13

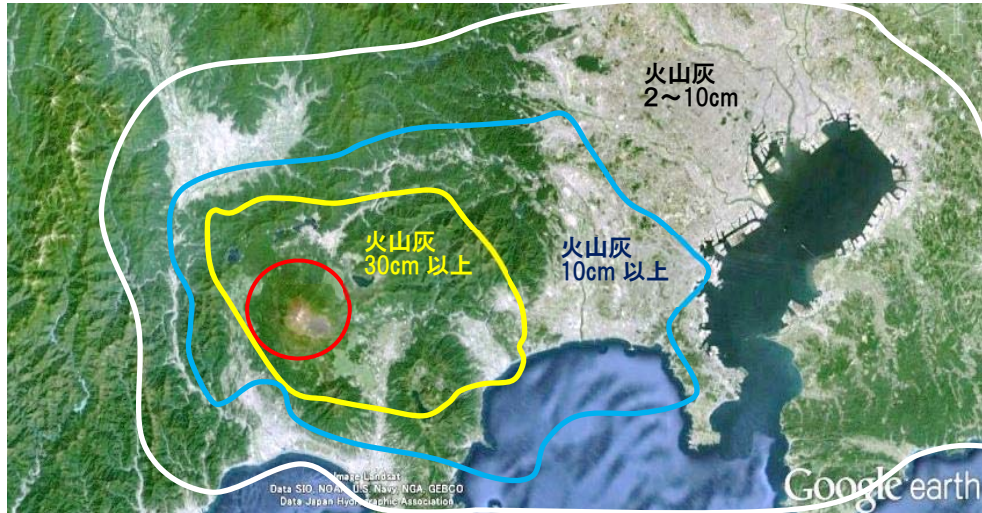
AMAZONなどのネット販売は、1月以降予定

写真提供 鹿児島県立博物館

鹿児島市と薩摩半島側に厚さ 30~100cm 以上の火山灰が降る可能性

電気・水道・情報・道路 すべての都市機能がダウン 自分の命を守る手段とは！

桜島から見える現代都市のリスク 火山から半径 10km 圏 (○の範囲) と軽石・火山灰が積もる厚さ



桜島 軽石火山灰の分布
(参考資料:桜島広域防災マップ)

富士山と降灰予想図
(参考資料:富士火山防災マップ)

(軽石・火山灰は全方位に同時に降ることはありません。主にマップの範囲で限られた方向に降ってきます。)

推薦

岩松 暉

鹿児島大学名誉教授 静岡大学客員教授
元日本学会議会員
専門:応用地質学

想定外とは言えません 巨大リスクです

桜島大噴火が近づいているという。歴史時代の大噴火では、軽石・火山灰は大隅半島側に降り積もった。しかし、風向きによっては、鹿児島市を含む薩摩半島にも厚さ 30~100cm を超える多量の軽石・火山灰が降り積もることがあり得る。実際、13,000 年前に桜島から噴いた薩摩降下軽石は、名称通り薩摩半島を中心に厚く積もっている。しかし、このリスク対策は現在ほとんど取られていない。本著は、大噴火時とその後に鹿児島湾周辺の都市に起きる危機と対策を解かりやすく示したものである。桜島周辺地域の行政・産業・医療・農林水産業や各家庭、および全国の活火山周辺に住む方々に読んで頂きたい著作である。

図書お申込み先

①お申込みは、この用紙にご記入のうえ FAX ないし E メールでご連絡下さい。

価格 1500 円+消費税 120 円+送料 210 円=1830 円 高城書房 FAX 099-260-0420(高城書房)

【著者割引】

1500 円のみ (郵送料と消費税分は著者が負担致します) 先着 450 冊

著者割引の場合は、下記「ゆうちょ銀行」へご送金ください。4 日以内に発送いたします。

振込手数料はご負担願います。

記号	番号	なまえ
17820	12097971	ミタ カズロウ

②先着 450 部の販売が終了した場合は、長寿補強土(株)のホームページでお知らせ致します。

また、申込書を、高城書房に FAX を送付致します。

(高城書房への転送をご希望にならない方がおられましたら、下記にご記入下さい。)

著者宛先 FAX 099-275-9235

e メール: er-info@bronze.ocn.ne.jp TEL 099-275-9234

お名前	冊数	御所属	住所	電話番号	FAX 番号
メールアドレス(要件が発生した場合のご連絡先)					
その他記載欄					